

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都板橋区小豆沢 2-19-8
園名	ミアヘルサ保育園ひびきあずさわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

野球を通じて体幹を鍛え、スポーツを好きになろう

<テーマの設定理由>

広い園内のホールを活用し、元野球選手による直接指導のもと、体を動かす楽しさや仲間と協力する喜びを体感する。広い空間で思い切り体を動かせることは、子どもたちの自信と健やかな成長に繋がる。

2. 活動スケジュール

令和7年11月7日（金）10時～11時 野球教室①

令和7年12月8日（月）選手と保育者で投げ方の指導について話し合い

令和8年1月14日（水）10時～11時 野球教室②

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

環境設定として、カゴ、フラフープ、コーンを用意する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ボール作成
- ・ボール遊び
- ・ボールを投げる、玉入れ、的当て
- ・選手による投げ方指導

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・野球を知っている子も知らない子も興味を持てるような声掛けを行った。
- ・実際に選手が使っているボールを触らせてもらうと「まるい」「硬いんだね」と気づき、ボール作りでは、選手が使っているボールと同じように作ろうと工夫を凝らしていた。
- ・玉入れや的当てでは、子どもたちの「上から投げたら入るかも」「まっすぐ投げてみよう」という言葉に傾聴し、やってみようと声掛けを行った。
- ・チームを作り活動することで、協力して目標を達成する喜びを体感した。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

普段の保育活動とは異なる専門的な指導を受ける機会となり、子ども達は意欲的に参加していた。活動の中ではボールを投げるといった基本的な動作を体験するだけでなく、選手の声掛けや実演を通して「挑戦することの楽しさ」や「できた時の達成感」を感じる姿が多く見られた。普段、運動に消極的な様子の子も、選手や友達の応援を受けながら繰り返し取り組む姿が見られ、チームでの活動を通して社会性や思考力、達成感を育むことができたように感じた。